2022年度

（第8期）

事業計画書

自　2022年 4月 1日
至　2023年 3月31日

2022年6月吉日

特定非営利活動法人HON.jp

（旧：日本独立作家同盟）

（※以下敬称略）

1. 役員体制

1-1. 理事退任と重任の件

理事は、鷹野凌、仲俣暁生、藤井太洋、落合早苗、波野發作の5名が重任、池田敬二、松本淳の退任が理事会で承認された。なお、池田敬二、松本淳は7月1日よりファウンダー（法人創設時の役員が退任時に就任できるアドバイザー／議決権を除き正会員と同じ特典を会費なしで得られる）となることが理事会で承認された。

1-2. 理事長選任の件

理事長は、鷹野凌が重任することが理事会で承認された。副理事長は、定款変更により7月1日以降は必須ではないため置かない

1-3. 監事選出の件（総会表決事項）

第7期まで監事として活動いただいた天野治夫氏に、重任いただきたい。

2. 事業計画

2-1. NPO法人全体の活動方針

2022年度も「**本（HON）のつくり手をエンパワーメントすることにより、創造性豊かな社会を実現する**」をビジョンとして活動を行う。課題解決型というより価値創造型のビジョン。受益者は新時代の書き手。世の中に溢れてるテキストがどんどん軽薄短小化し、書き手が使い捨てられているような状況に抗う。

当法人の定款に定める活動領域は、以下のとおり。

【特定非営利活動の種類】

- 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 情報化社会の発展を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- 経済活動の活性化を図る活動

【特定非営利活動に係る事業の種類】

- 出版事業
- イベント事業
- メディア事業
- エージェント事業
- その他目的を達成するために必要な事業

2-2. 部会について

2022年度の部会活動全般は、引き続きオンラインでできることを中心としつつ、感染症の状況を慎重に見極めながらリアルイベント開催の可能性を模索する。

部会とは、当法人のミッション実現のため活動主体となるチームで、メンバーは正会員、役員、ファウンダー。活動分野ごとに結成し、予算策定や事業の執行などを行う。活動分野は以下の表のように、複数の特定非営利活動に係る事業にまたがる場合が多い。

事業の種類	NovelJam部会	メディア部会	個人出版支援部会
イベント事業	プレイベント、イベント本番、表彰式等	トークイベント等	セミナーやライトニングトーク大会等
メディア事業	公式サイトやnoteの更新等	ニュースブログ更新、メルマガ配信等	ホールパブリッシングカタログ
出版事業	イベント制作本や合本等の出版販売	年鑑の発行	
その他目的（略）	グッズ販売（クラウドファンディング）	Google AdSense等不特定多数対象の広告	

2-2-1. 個人出版支援部会

部会長は椋康雄。担当理事は仲俣暁生。パブリッシャーの支援ツールを紹介するカタログ（事典）的コンテンツ「ホールパブリッシングカタログ」を展開する。

2-2-2. NovelJam部会

部会長は和良拓馬。担当理事は波野發作。出版創作イベント「NovelJam」の開催のほか、編集やデザインのイベントも実施する。また、新潟で敬和学園大学が開催する「阿賀北ノベルジャ

ム」の後援など、NovelJamの名称やノウハウを非営利セクター（学校や図書館等）向けに提供し、認知向上と普及促進に努める。

2-2-3. メディア部会

部会長は鷹野凌。担当理事は鷹野凌。「HON.jp News Blog」は引き続き論考・解説・意見などへ注力。会員からの声も積極的に募っていく。オンライン番組「HON.jp News Casting」の特番配信を四半期に1回。ウェブ記事を年1回まとめて年鑑を発行する。シンポジウムを年1回開催する。リアル開催とするかどうかはコロナ禍の状況を見ながら。

3. 活動予算

3-1. 経常収益

経常収益合計は、674万3500円の見込み。

受取会費は、2021年度と同額で182万8000円。受取寄附金は、2021年度と同額で6万円と、ボランティア受入評価益が242万4000円。受取助成金は、事業復活支援金100万円と、事業再構築補助金（電子図書館サービス構築の補助）110万円を申請予定。事業収益は、イベント事業12万円、メディア事業7万円、出版事業14万円、その他事業0.5万円。

3-2. 経常費用

経常費用合計は、663万2042円の見込み。

事業費は569万8000円の見込み。うち、イベント事業で61万8000円、メディア事業で418万円、出版事業で20万円、その他目的を達成するための事業（電子図書館サービス）で70万円。NovelJam部会は、審査員謝礼などで38万円。個人出版支援部会は、原稿料で55万円、ボランティア評価費用（編集費）で55万円。メディア部会は、原稿料で187万円、登壇謝礼で4万4000円、シンポジウム用の配信機材で15万円、ボランティア評価費用で176万円、販売用の紙書籍仕入れで20万円（期末商品残10万円）。

管理費は、2021年度とほぼ同額で93万4042円の見込み。うち、ボランティア評価費用で62万円。

営業外収益・費用と合わせ、当期経常増減額は約20万円の見込み。詳細は次ページを参照。